

輝くひとみ

ふるさと中仙で
 学びを拓き 未来を拓き 夢ふくらむ中仙小学校
 ～夢に向かって 笑顔いっぱい みんなでチャレンジ～

2月20日 児童総会 一年をふり返り 次の活動につなげる



にない大きな成果がありました。学校を自分たちの手でよくしていこうとアイデアを出し合い、委員会のメンバーが力を合わせて取り組んできた

児童総会を3年生以上が参加(1・2年生は見学)して行いました。この児童総会で感じたことを記します。

■ 児童会アンケート ■

児童総会で、「児童会アンケート」をもとに今年一年の活動をふり返りました。「児童会アンケート」は9項目の具体的な行動目標に対して子どもたち一人一人が自己採点してまとめたものです。(その一部は下のグラフの通り)

このように、「児童会アンケート」を実施して、自分たちの活動をふり返っている学校はあまり例がありません。本校児童会の伝統だと感じています。

■ 新しい活動やこれまでにない成果 ■

運営委員会をはじめとする各委員会の活動報告に、昨年にない新しい活動や、これまで

ことが感じられました。

その成果から、子どもたちは、《意見をもつ → 意見をもとに活動を決める → 決定した活動をみんなで実践する》ことが《全校を動かす》ことを実感したと思います。

■ 次の活動につなげる ■

各学年の発表では、「目標の〇〇はよくできた。◇◇はできないことがあった。だから、これから☆☆をめざす」と学級の取り組みが報告されました。単なる反省で終わらずに、《次の活動につなげる》ことまで話し合っていることが感じられました。

このように、《次は・・・》と考え行動することが大切だと子どもたちは感じています。



委員会代表が成果を発表しました

フロアも真剣に耳を傾けていました



児童会の目標 達成できたかな

子どもたちが自己採点して児童会がまとめたものです(児童総会資料より)

「健康に気をつけて生活している」 ★年間を通してよくできたこと	4月	できた 88%
	2月	91%
「好き嫌いせず給食を食べている」 ★後期に大きく伸びたこと	4月	64%
	2月	79%
「家や学校で読書を楽しんでいる」 ★前期より不十分だったこと	4月	83%
	2月	74%

■「家読(うちどく)」をお勧めします。『家読とは、家族で本を読んで、お話をするというものです。家族のふれあいやコミュニケーションを深めることになります。そして、子どもに豊かな心を育むことになります。』と先日のPTA全体会で熊谷会長さんからもお話がありました。

P T A 授業参観

ご参加・ご協力ありがとうございました

講話の内容について



先日17日(火)のP T A授業参観では、子どもたちの学習の様子をご覧いただきました。また、全体会や学年懇談会にもご出席いただきました。役員の方々には、駐車場の案内と全体会や学級懇談会の運営にお力添えをいただきました。ありがとうございました。

全体会では、学校保健委員会の取り組みとして講師の方を招いて講話をしていただきました。その内容(要旨)を紹介します。

学校保健委員会「虫歯と歯周病について」 講話：竹原歯科衛生師(大仙市保健所)

1 虫歯と歯周病について

(1) 虫歯の原因

- ・虫歯の原因はミュータンス菌。ミュータンス菌は歯垢となって歯の表面に付着する。
- ・ミュータンス菌は、食後の食べかすの中の糖分を摂取・分解して酸を出す。この酸が、歯の成分であるカルシウムやリンを溶かして歯をもろくする。

(2) だ液のはたらき

- ・だ液は、ミュータンス菌から歯を守るはたらきをする。だ液は、カルシウムやリンを含んでいる。だ液は日中は繰り返し出て歯を修復する。寝ている間は、だ液の量は少ないので、歯を守るはたらきが落ちる。
- ・規則正しく食事をしている場合と、だらだらと食べている場合では、だらだらと食べている場合の方が、ミュータンス菌の動きが活発で、だ液に修復する力があるといっても、歯を守ることができない。

(3) 歯周病について

- ・歯垢は、虫歯だけでなく、歯ぐきにも悪い影響がある。
- ・歯磨きしても磨き残しが多く、小学生でも4割が歯肉炎(歯周病の1つ)にかかっている。歯肉炎はかつて大人の病気といわれたもの。低年齢化している。
- ・人が歯を失う原因は、歯周病が42%、虫歯が32%。これが2大原因。

2 歯の健康について

(1) 乳歯

- ・乳歯が虫歯になると永久歯も虫歯になる。乳歯は永久歯に生え変わるからと思って、乳歯の虫歯を放置しておくのは誤り。

(2) 大臼歯(だいきゅうし)

- ・虫歯になりやすい歯は大臼歯(奥歯の2本ずつ)。大臼歯は歯ブラシがあたりにくい。
- ・一般に大臼歯から歯を失う。
- ・特に奥から2番目の大臼歯は、歯の中で噛む力が一番強く、この歯を失うと咀嚼(そしゃく)効率が60%失われる。一番奥の大臼歯は、歯としての寿命が短い。

(3) 歯磨きについて

- ・歯の表面や裏側だけでなく、歯と歯の間、歯ぐきの部分も磨く。
- ・歯ブラシを小刻みに動かしてブラッシングする。歯の形状に合わせて、歯ブラシを縦にしたりして磨く。鏡を見て磨くとよい。
- ・子どもは歯磨きしても、前歯の表面しか磨いていないことが多い。子ども任せにせず、時には親が見て仕上げをしてほしい。
- ・大臼歯は、周りに溝があり虫歯になりやすい。子どもでは磨くことができないことが多い。
- ・子どもの歯ブラシにキャップ付きがあるが歯ブラシが乾かないままキャップに入ることが多い。きれいに洗っていないこともあるので、親がよく見てほしい。

3 丈夫な歯をつくるために

(1) 正しいブラッシング

→ 磨き残しがないように！

(2) よく噛むこと

→ だ液が出やすい！

(3) 規則正しい食生活

→ だらだら食べないこと！